

学力向上対策室だより

～ アンケート結果発表 ～

R7
2月

☆全国の先生向けサイトに特集されました☆

全国の先生に向「先生向けnavima活用ナビ『navima ナビ』」で、navima を使って、自分のペースで問題に向き合う泉南中学校と一丘小学校の児童生徒のステキな姿が特集されました。ぜひ、右下のQRコードからご覧になってください♪



2024.09.11

支援学級でnavimaを活用し、
個別最適な学習を実現
大阪府泉南市立泉南中学校



2024.11.19

navimaを使うことでそれぞれの
進度に合わせた学習が…
大阪府泉南市立一丘小学校

navima ナビ
先生向けnavima活用ナビ



アンケートの結果より

11月29日～12月13日の期間に学校を通じて実施しましたAIドリル「navima」に関する保護者アンケートに御協力いただきありがとうございました。合計156人の方から御回答をいただきました。今回は、1学期および2学期に実施したアンケートの結果を基に、利用状況や課題を整理し、今後の取り組みについてお伝えします。

< 1. 児童/生徒からの回答 >

どの学年においても、約80%近い児童生徒が「自分のペースで学習できる」「学習がわかりやすくなった」という回答をしてくれました。



AIドリルをよく使ってる子たちは、効果を感じてるようです。
やはり、こういうツールって使い方次第で学びやすさが
変わるんですね！

< 2. 保護者の方からの回答 >

今回向上した項目のいくつかを紹介します。

- 「navimaをよく知っている」が増加（25.2% → 30.8%）
- 家庭での関わり方：「様子を見守っている」が増加（24% → 30.1%）かつ「子どもに任せている」が減少（70.3% → 66%）

多くの保護者の皆さまにご理解、ご協力をいただいていることがわかりました。また、ご家庭での見守りの機会も増えていることが確認できました。

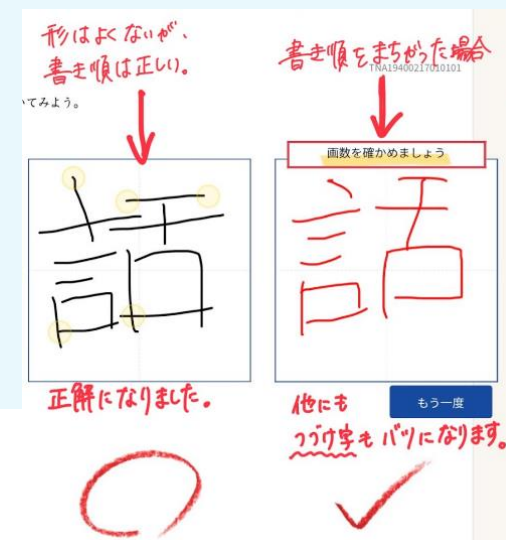


< 3. 自由記述のご意見 >

- （1）良かった点
 - ・ 学校で宿題として活用することで、子どもが積極的に取り組むようになった。
 - ・ 学習の進捗が可視化され、取り組みやすい。
 - ・ タブレットを使うことで、隙間時間の活用がしやすい。
- （2）課題点と改善要望
 - ・ 操作性の問題：フリーズする、反応が悪い、入力が難しい。漢字が正解にならない。
 - ・ 学習意欲の低下：問題が単調、ご褒美制度が不十分、競争要素が欲しい
 - ・ 家庭学習への影響：視力低下が心配、タブレット依存の懸念、紙の宿題の方が良い

ご意見の多かった漢字の認識機能について

漢字の書き取り認識については、各学校で「易しい」「普通」「厳しい」の設定ができます。ただし、「易しい」の設定でも、書き順が間違っていると正解にはなりません（右図参照）。
「易しい」設定では、漢字のとめ、はね、はらい、かたちが多少正確でなくても○になります。低学年のうちは大人がきっちり見てあげて、正しく書く習慣を身に付けてあげてください。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL : 072 (483) 3673

花笑み
sennan